

新装第1版

茅ヶ崎方式
国際英語教本
Book 1
(初級)

茅ヶ崎方式英語会

＜ 序 文 ＞

茅ヶ崎方式英語会は1981年の創設から一貫して **LISTENING を基盤**とした独自の教本類を使用して来ました。これまで何回か改訂を重ね、30年を経て、このたびようやく、全教材を網羅する**4,000語**を確定するとともに、次の**8冊の教本類と月刊英語教本**をひとつの学習システムとして完成することが出来ました。

	教本類名	内 容	用語数
1	茅ヶ崎方式国際英語 基本 4,000 語	茅ヶ崎方式で使用する全用語の説明	4,000
2	0 からスタート再学習の英語 前編	もう一度英語をやり直したい人向け	250
3	0 からスタート再学習の英語 後編	前編修了者向け	500
4	茅ヶ崎方式英語教本 BOOK-1	LISTENING と統語法の基礎	1,000
5	茅ヶ崎方式英語教本 BOOK-2	ニュース理解の基本用語と知識	2,000
6	茅ヶ崎方式英語教本 BOOK-3	LISTENING の仕上げ	3,000
7	茅ヶ崎方式英語教本 BOOK-4	LISTENING, 語彙、統語法の仕上げ	4,000
8	茅ヶ崎方式英語教本 BOOK-5	WRITING & SPEAKING	4,000
9	茅ヶ崎方式月刊英語教本	最新のニュースを教材とした中・上級者用	4,000

* <茅ヶ崎方式学習システムの使い方> P.200 参照

これらの教本類で学んだ人達は数十万人に上り、今も全国150の協力校で毎年数千人の会員がこのシステムのもとで学習しています。自分の現在の力に合ったところから始めて、確実に国際社会の中で役立つ英語力を身につけてください。

2013年4月 初代代表 元NHK国際局記者 松山 薫

* 協力校の所在地は、茅ヶ崎方式英語会ホームページに掲載されています。月刊英語教本は、2015年8月に廃刊となりました。また茅ヶ崎方式英語教本は茅ヶ崎方式国際英語教本として再発行されています。

UNIT 1.	前置詞 -1	「日本の四季」	8
UNIT 2.	前置詞 -2	「日本の遠洋漁業」	12
UNIT 3.	前置詞 -3	「航空機の発達」	16
UNIT 4.	接続詞 -1	「女性のアトランタ5輪」	20
UNIT 5.	接続詞 -2	「在日外国人増加」	24
UNIT 6.	目的補語 -1	「季節はずれの台風猛威」	28
UNIT 7.	関係代名詞 -1	「坂本弁護士一家の悲劇」	32
UNIT 8.	関係代名詞 -2	「田中元首相と故郷」	36
UNIT 9.	関係副詞 -1	「広島原爆の日」	40
UNIT 10.	関係詞省略 -1	「香港中国に戻る」	44
UNIT 11.	動詞の時制 -1	「神戸の少年惨殺事件」	48
UNIT 12.	受動態 -1	「長江に巨大ダム」	52
UNIT 13.	仮定法 -1	「5輪と嘉納治五郎」	56
UNIT 14.	不定詞 -1	「ノーベル賞作家大江健三郎」	60
UNIT 15.	不定詞 -2	「国連と日本」	64
UNIT 16.	現在分詞 -1	「アメリカの銃規制」	68
UNIT 17.	過去分詞 -1	「京都から東京へ」	72
UNIT 18.	動名詞 -1	「交通事故死減少」	76
UNIT 19.	慣用 -1	「日本の海外旅行者」	80
UNIT 20.	慣用 -2	「公園になった練兵場」	84
UNIT 21.	前置詞 -4	「四季の野菜」	88
UNIT 22.	前置詞 -5	「国際化する相撲」	92
UNIT 23.	前置詞 -6	「タイタニック号の悲劇」	96
UNIT 24.	接続詞 -3	「エブラハム・リンカーン」	100
UNIT 25.	接続詞 -4	「大韓航空機墜落事故」	104
UNIT 26.	目的補語 -2	「マザー・テレサ」	108
UNIT 27.	関係代名詞 -3	「樺太引揚船」	112

UNIT 28.	関係代名詞 -4	「自由と人権」	116
UNIT 29.	関係副詞 -2	「邪馬台国論争」	120
UNIT 30.	関係詞省略 -2	「盲導犬増強計画」	124
UNIT 31.	動詞の時制 -2	「喫煙の健康被害」	128
UNIT 32.	受動態 -2	「インターネット時代」	132
UNIT 33.	仮定法 -2	「地域核戦争の危機」	136
UNIT 34.	不定詞 -3	「ダイアナ妃の死」	140
UNIT 35.	不定詞 -4	「HANA-BI に大賞」	144
UNIT 36.	現在分詞 -2	「アメリカの AIDS」	148
UNIT 37.	過去分詞 -2	「連合に新会長」	152
UNIT 38.	動名詞 -2	「崩れる終身雇用制」	156
UNIT 39.	慣用 -3	「不滅の歌姫美空ひばり」	160
UNIT 40.	慣用 -4	「汚職政治家と世論」	164
EXTRA UNIT		「東日本大震災」	168

* 「」内の日本語タイトルは LISTENING COMPREHENSION TEST の内容です。
EXTRA UNIT は改訂第2版で新しく書き下ろしました。

WORD LIST	173
不規則動詞一覧表	194
発音記号の説明	198
茅ヶ崎方式英語学習システムの使い方	200
この教本（BOOK1）の使い方	202
著者、作成協力者	204

EXERCISE

1. A new industrial robot has been developed *at* a laboratory in Tsukuba.
2. The United States and Russia made a plan to hold their summit meeting in space *at* the beginning of the 21st century.
3. Cherry blossoms *in* Tokyo bloomed 10 days earlier than usual this year.
4. The Pacific War ended *on* August 15th *in* 1945.
5. Mt. Mihara *on* Oshima Island in the Pacific is an active volcano.
6. Japanese adventurer Naomi Uemura disappeared while climbing Mt. McKinley *on* his 43rd birthday.
7. At first, the students had little knowledge *on* the subject.
8. Magnetic force enables a train to run floating *above* a track.
9. Anyone *above* the age of 18 can take the driving test.
10. Fine fall weather is spreading *over* the Kanto District.
11. The actress was *over* sixty when she married for the eighth time.
12. On the top of Mt. Fuji, climbers can see a beautiful sea of clouds *below* them.
13. Japan's steel production for that year fell far *below* 100 million tons.
14. The husband found his wife's secret savings *under* the TV set.
15. Certain pro baseball players can move to new teams at their own choice *under* the free agent system.
16. Heavy snows continue to fall in northern Japan *along* the Japan Sea.
17. Russia and China planned to construct a natural gas pipeline *across* the Eurasian Continent.
18. Trains carry passengers *through* the tunnel under the sea in three hours.
19. The rainy season in Japan lasts about 40 days from June *through* mid-July.
20. In New York, all poisonous asbestos was removed from public school buildings *throughout* the city.

1. 新しい産業用ロボットが筑波の研究所で開発された。
2. アメリカとロシアは 21 世紀の初めに宇宙で首脳会談を行う計画を立てた。
3. 東京の桜は今年は普段より 10 日早く咲いた。
4. 太平洋戦争は 1945 年の 8 月 15 日に終了した。
5. 太平洋にある大島の三原山は活火山である。
6. 日本の探検家、植村直己さんは 43 歳の誕生日にマッキンレー山に登山中消えた。
7. 初め生徒たちはその問題に関してほとんど知識がなかった。
8. 磁力が列車を線路の上に浮いて走ることができるようにしている。
9. 年齢 18 歳以上の人はだれでも運転免許試験を受けられる。
10. 秋の好天が関東地方の上にひろがっている。
11. その女優は 8 回目の結婚をしたとき 60 歳をこえていた。
12. 富士山の頂上で登山者たちは眼下に美しい雲海を見ることができる。
13. その年の日本の鉄鋼生産は 1 億トンをはるかに下回った。
14. その夫は妻のへそくりをテレビの下で見つけた。
15. 一定の条件を満たしたプロ野球選手はフリーエージェント制の下で自分の選んだ別のチームに移ることができる。
16. 大雪が日本海沿いの北日本に降り続けている。
17. ロシアと中国はユーラシア大陸を横切って天然ガスのパイプラインを建設することを計画した。
18. 列車はその海底トンネルを通して 3 時間で旅客を運ぶ。
19. 日本の雨期は 6 月から 7 月半ばにかけておよそ 40 日づく。
20. ニューヨークでは街中の公立学校から全ての有毒なアスベストが取り除かれた。

WORD TEST

- | | | |
|------------|----------------|---------------|
| 1. develop | 6. knowledge | 11. continue |
| 2. space | 7. enable | 12. poisonous |
| 3. bloom | 8. district | 13. remove |
| 4. war | 9. tear | 14. leaf |
| 5. active | 10. production | 15. enjoy |

GRAMMAR TEST

1. Seasonal changes are not clear *in* Hawaii.
2. From the hilltop, climbers can see cherry blossoms blooming *under* them.
3. *At* sea-bathing spots *along* the Shonan Beach, you can see children learning how to swim.
4. Mountains *throughout* the district are covered with colorful autumn leaves.
5. *In* the train, passengers can enjoy the sight of beautiful autumn leaves *over* two hours.

LISTENING COMPREHENSION TEST

Seasonal changes are very clear *in* Japan. *In* spring, people see cherry blossoms blooming *across* the country. Summer is the season for sea-bathing. *In* autumn, hills and mountains are covered with colored leaves. From Hokkaido *through* Kyushu, skiing can be enjoyed *in* winter.

QUESTIONS

1. What are the four seasons ?
2. What is the symbol of spring in Japan ?
3. What are mountains covered with in autumn ?

NOTES

1. at : ① (比較的小さな) 場所 ex.(1), ② (比較的短い) 時間 ex.(2)。 2. in : ① (比較的広い) 場所 ex.(3), ② (比較的長い) 時間 ex.(4)。 3. on : ① (ある場所の) 上に接することを示す ex.(5), ② (at と in の中間的な) 時間 ex.(4)(6), ③ ~に関する、関して = about ex.(7)。 4. above : (ある場所) より上にあることを示す ex.(8)(9)。 5. over : ① (ある場所の) 上方をおおっていることを示す ex.(10), ② (ある期間を) こえていることを示す ex.(11)。 6. below : (ある場所の) すぐ下にあることを示す ex.(12)(13)。 7. under : (ある場所の) 下方にあることを示す ex.(14)(15)。 8. along : (ある場所に) 沿っていることを示す ex.(16)。 9. across ← a+cross : (ある場所を) 横断していることを示す ex.(17)。 10. through : (ある場所、時間を) 貫いていることを示す ex.(18)(19)。 11. throughout : 全体に行きわたっていることを示す ex.(20)。 12. 前置詞の後にくる名詞 (代名詞、動名詞など) を前置詞の目的語という。従って代名詞は目的格を用いる。

GRAMMAR TEST 訳文

1. ハワイ**では**季節の変化ははっきりしていない。
2. その丘の上から、登山者たちは桜の花が咲いているのを眼**下**に見ることができる。
3. 湘南海岸に**沿った**海水浴場**で**、(あなたは) 子供たちが泳ぎ方を学んでいるのを見ることができる。
4. その地方の山々は**どこもかしこも**紅葉でおおわれている。
5. その列車の**なかで**、乗客たちは2時間**以上**美しい紅葉の眺めを楽しむことができる。

LISTENING COMPREHENSION TEST 訳文

日本**では**季節の変化がたいへんはっきりしている。春**には**人々は国中で桜の花が咲くのを見る。夏は海水浴の季節である。秋**には**山や丘が紅葉で覆われる。北海道から九州**に至るまで**冬**には**スキーが楽しめる。

QUESTIONS 答

1. spring, summer, autumn and winter
2. cherry blossoms
3. colored leaves

この教本 (BOOK 1) の使い方

① EXERCISE (EX) 用例

1. 20 の用例を自分で日本語にする。知らない語は **WORD LIST** や『国際英語基本 4,000 語』で調べる。そのあと日本語訳文で英文の内容を確認する。
2. 用例および日本語訳文中ブルーの文字はその **UNIT** で学習する「語順に関する文法事項 (syntax)」である。用例のひとつひとつについて、文法解説を参照しながら、その役割を知るよう努める (なんとなくわかればよい)。
3. 20 の用例すべてについて 1. 2. の作業を終えたら、**BOOK 1** の **CD** あるいはカセットを繰り返し聴き、音声だけで内容を理解できるようにする。

② WORD TEST (WT)

WORD TEST の 15 語は、前半が用例の中で使用した語、後半の 5 語前後がこのあと **GRAMMAR TEST (GT)** と **LISTENING COMPREHENSION TEST (LCT)** で使用する語である。**BOOK-1 CD** の音声 **WT** を聴いて、用例の語を確実におぼえられたかどうかをチェックするとともに、知らない語は **WORD LIST** で調べて、**GT**, **LCT** に備える。

③ GRAMMAR TEST (GT)

GT の 5 題は、「語順に関する文法事項」をどの程度理解できたかをチェックするためのものである。**BOOK-1 CD** の **GT** を、その文法事項がどこにあるかに注意して聴きながら、文全体の内容を把握する。英文を、ブルーの文字の役割に注意して日本語にし、日本語訳文と照合する。

④ LISTENING COMPREHENSION TEST (LCT)

1. **LCT** は ① ② ③ の学習効果を総合的にチェックするためのものである。**BOOK-1 CD** の **LCT** を 3 回聴き、英文、日本語訳文をみて理解度をチェックする。そのあともう 1 回 **normal speed** で **CD** を聴く。音声に馴れてきたら **normal speed** 1 回で 80% 理解できるよう努力する。
2. ラジオ・ニュース・スタイルで書かれている **LCT** は音読の **text** として最適である。**natural speed** の **LCT** を手本として、何回も音読する。音読の練習は **speaking** の基盤となる。

⑤ QUESTIONS (Q)

1. **QUESTIONS** の 3 題は **LCT** の理解度をチェックするためのものである。答は **LCT** の中にある。**BOOK-1 CD** の **Q** を聴き、わからなければ **LCT** を聴き直

して答を見い出してから解答をみる。

2. 質問をすることは **speaking** の第1歩であるから、自分で質問し、自分で答える練習を重ねて、質問の方法を体得する。**LISTENING** の力がつき、質問が口をついて出るようになれば英語による対話の第1歩を踏み出すことができる。

- ⑥ **WORD LIST** の右欄の () 内の数字は、**UNIT** 及び用例の番号を示す。なかなかおぼえられない語を **list up** し、『国際英語基本 4,000 語』を利用して、その語が用いられている他の用例を学習すれば、**context** (文の中の前後関係) をテコに、その語をより早く、確実におぼえることができる。

* **BOOK-1 CD** は

● **EXERCISE, QUESTIONS**

UNIT 1 ~ 20 = slow

UNIT 21 ~ 40 = normal

● **GRAMMER TEST, LISTENING COMPREHENSION TEST**

UNIT 1 ~ 16 = slow

UNIT 16 ~ 30 = slow and normal

UNIT 31 ~ 35 = normal and slow

UNIT 36 ~ 40 = normal

となっています。

著 者

松山 薫 Shigeru Matsuyama

略歴：1929 年東京生まれ、東京高等師範学校英語科卒、新潟県立栃尾高校、新潟南高校、静岡県立浜松北高校教諭を経て、NHK 入局国際局記者、1981 年茅ヶ崎方式英語会創設初代代表、(有)茅ヶ崎出版、(有)茅ヶ崎方式英語会の設立を企画

著書：茅ヶ崎方式時事英語教本「準備編」「基礎編」「応用編」「対話編」、茅ヶ崎方式英語教本「BOOK 1」「BOOK 2」「BOOK 3」「BOOK 4」、国際英語基本 4000 語、季刊時事英語教本「1 号～18 号」、茅ヶ崎方式英語教本バイマンスリー「1 号～18 号」

共著者

大英賀 廣芳 Hiroyoshi Omika

茅ヶ崎方式英語会初代講師、2010 年 有限会社茅ヶ崎方式英語会代表

用例作成協力

脇田 敬子 Takako Wakita

茅ヶ崎方式英語会本校講師、教本改訂委員会サブエディター

インパクトがあって腐らない用例を文法事項と単語の制限の中で作るのは難しかったです。

林 貞代 Sadayo Hayashi

茅ヶ崎方式英語会本校講師、教本改訂委員

限られた単語を使って、文法もニュース性も兼ね備えた用例を考えるのは苦しくも楽しい作業でした。

小池 節子 Setsuko Koike

茅ヶ崎方式英語会本校第7期会員、教本改訂委員

生涯学習として始めた英語会での勉強も15年になり、泣き笑いをした日々がよみがえってきます。

布施 順子 Junko Fuse

茅ヶ崎方式英語会本校元講師、教本改訂委員

いろいろな意味で私を育ててくれた茅ヶ崎方式英語会の教本改訂に携わることができたことは私の誇りです。

茅ヶ崎方式
国際英語語教本 BOOK 1（初級）

2015 年 12 月 1 日 新装第 1 版第 1 刷発行

著 者 松山 薫
共著者 大美賀 廣芳
発行者 大美賀 廣芳
発行所 有限会社 茅ヶ崎方式英語会
埼玉県行田市北河原 647

© 2015 Shigeru Matsuyama Printed in Japan